

横田飛行場への戦闘機の飛来について（口頭要請）

今般、横田基地周辺住民から地元自治体に「11月18日（土）及び19日（日）の米軍横田基地へのF A-18の飛来」に関する問合せや苦情が複数寄せられたことから、防衛省北関東防衛局に事実確認等の照会を行ったところ、米軍から「F A-18（4機）が横田基地に飛来しており、訓練内容等（離着陸の時間）については運用に関することであるため答えられないが、タッチアンドゴーを実施した」という回答が、防衛省北関東防衛局を通じて地元自治体に提供された。

また、地元自治体には、12月2日（土）及び3日（日）についても、横田基地周辺での戦闘機の騒音に関する苦情が寄せられている。

基地周辺住民にとっては、休日である土曜日・日曜日に生じた事象であり、地元自治体として看過することのできないものであることから、改めて、次の点について要請する。

- 横田飛行場における騒音規制措置を遵守すること。
- 実施された戦闘機の訓練の目的や理由を明らかにし、地元自治体へ情報提供を行うこと。
- これまでも要請を行っているとおりに、基地外に影響を及ぼす恐れのある事案については、事前の情報提供を行うこと。
- 飛行運用等全てにおける安全対策を徹底するとともに、基地周辺住民に与える影響を最小限にとどめるよう努めること。

平成29年12月 4日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
ケネス・E・モス 大佐 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	清水庄平
昭島市長	臼井伸介
福生市長	加藤育男
武蔵村山市長	藤野勝
羽村市長	並木心
瑞穂町長	杉浦裕之

幹事 羽村市長 並木心